

ご挨拶

まだまだ寒い日もありますが、緑がまぶしい季節になってきました。
去る4月16日の支部総会には多数ご出席を賜りありがとうございました。
本年は役員改選期にあたり私はじめ役員全員が更に2年間役員を仰せつかりました。
気持ち新たに領土返還のため微力を尽くしますので、皆様の変わらぬご協力をお願い申し上げます。

さて、3月11日に発生した未曾有の大震災と原発事故により被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。わが町では地震による大きい被害はなかったもようですが近隣市町はじめ道内漁業に被害をもたらしたほか、観光産業も風評により打撃を受けています。

震災発生から3ヶ月経て、国内政治が揺れ動き非常に残念かつ歯がゆい状況を呈しています。世界中から支援の手が差し伸べられる一方、日本周辺の空海では日本の安全保障を窺うようにロシアや中国が活発に活動しています。また5月15日にはイワノフ・口副首相らが択捉・国後島を訪問し、北方領土での軍備増強を進めている状況に日本政府が抗議しました。

しかし、5月27日フランスで行なわれた菅総理とメドベージェフ大統領の会談では「静かな環境で北方領土問題について協議継続を確認」したのみで戦略は見えてきません。

このような時期だからこそ、政治も外交も停滞させず前に進ませてほしいと願います。本年も皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

支部長 白田誠治

本部会費および青年部費の納入について

平成23年度会費の納入について下記のとおりお願いをいたします。

会員名はこの封書の宛名でご確認ください。変更や異動などあれば

6月24日までに推進員 秋庭へご連絡ください。

本部会費(支部会員) 年額 1名 2,000円.....同封の郵便振替用紙で

青年部費(青年部員) 年額 1名 1,000円.....地区理事が後日伺います。

野付・別海両漁協組合員の方については、7月以降、会費・部費それぞれ組勘より振替させていただきます。

23年度 署名啓発活動にご協力ください!

6 / 26 (日) えびまつり会場10:00~

北方領土問題をアピールする場です。

昼食用意いたします。役員以外の方もお願いします。

10 / 9 (日) あきあじまつり会場(本別海漁港) 10:00~

2 / 上旬 ふゆとぴあ会場(別海農村広場)10:00~

2 / 12 (日) 白鳥まつり会場(尾岱沼) 10:00~



本部総会 5/23 札幌市

臼田支部長のほか宮田副支部長、池田監事、角田理事、白崎青年部長、推進員が出席しました。

総会に先立ち、返還運動功労者表彰が行なわれ、別海町支部からは宮田副支部長が小泉理事長より賞状を授与されました。宮田さんは支部監事 22 年、副支部長 6 年を務め、率先して体験を語り返還を訴えてこられました。

また本年度事業計画では、後継者を対象に「現地青年の集い」が 11 月別海町において開催されます。

予算関連では国費により「啓発活動推進事業費」13,572 千円が新たに計上され、各支部の事業に交付されることになりました。(当支部については 2 件が採択、次頁記載)

役員改選では理事 24 名、監事 2 名が選出され、理事の互選により小泉理事長、鈴木・萬屋副理事長、田村専務理事の再任が決まりました。



【融資業務研修会報告】(支部長、推進員出席)

限度額等と金利が一部改正されました。また、生前承継の生計維持要件が緩和され、元島民と子供による証(あかし)によっても、要件が満たされることになりました(参考資料参照)。

【指導者養成研修会報告】(支部長、推進員出席)

会員の加入促進については、子や孫の住所地が異なっても特例として親の所属する支部に加入するなど弾力的に取り扱ってもよいということです。また、国費事業については次年度以降も交付される見通しであることから留意事項の説明と意見交換が行なわれました。

支部総会 4/16 尾岱沼



「北方四島返還実現への強力な外交交渉促進要請」

「権益保全と補償問題の早期整備の要請」

「“本籍を北方領土へ移す運動”の推進」

北方領土問題を再認識し、返還にかける決意を明確に示す

根室市役所に出向かずとも郵便で謄本の申請ができます

「支部未加入の後継者の加入促進」

「北方領土返還要求別海町民大会」開催

～ 2/12 白鳥まつり会場 ご協力をお願いします。

【関係事業の日程】

期	日	事業	内容	場	所	摘	要
7 / 24	(日)	北方領土青少年洋上セミナー		羅臼	発着	青連協	主体
		荒天中止	* スタッフ～池田、荒木、加我、推進員				

8月24～26日	北方領土返還要求後継者キャラバン事業 (東北・北海道国民大会にて決意表明) * 派遣～白崎、荒木、五百木	道北コース	本部主催 支部青年部 派遣
10/15,16(土日)	「後継者活動促進全国会議・セミナー」	札幌市	本部主催 リーダー研修
11/5(土)	北方領土問題「現地青年の集い」 * 今年度は別海町支部青年部が準備担当	別海町	本部主催 青連協主管
2/7(火)	管内住民大会	根室市	北隣協主催
2/11,12(土日)	後継者研修会	札幌市	本部主催
随時	町北方四島ホムサイト千島連盟通信更新		青年部主管

平成23年度 別海町支部 啓発活動推進事業(国費事業)が決定

今年度2件の実施が決まりました。皆様のご協力をお願いいたします。

1. 北方領土返還街頭啓発

北方領土の返還運動を地域住民にアピールするため、旧盆の時期に町内メインストリートに「盆ちょうちん」300個を飾る啓発活動を展開。(予算690千円)

2. ふゆとぴあ北方領土クイズ

地域住民や観光客等の北方領土問題への関心を高めるため、冬のイベント「ふゆとぴあ」会場で、北方領土クイズ大会や署名活動を実施。(予算285千円)

「会員親睦パークゴルフ大会 & 交流会を行ないます！7/10(日)尾岱沼

会員親睦パークゴルフ大会 & 交流会を7月10日(日)に開催します。
会員と家族が交流し、絆を強めます。後継者の方もぜひお誘いください。
交流会からの参加も大歓迎です。(詳しくは別紙を)

青連協だより

4月2日の総会で役員改選があり、別海町支部から加我享さんが新たに理事に加わり、館下会長が引き続き会長に就任しました。

平成18年から実施してきた後継者によるビザなし交流「KJ法対話集会」は、昨年度は対話そのものが現地で阻まれましたが、その後メールのやりとりで全5回の意見集約を終えました。現在この対話集会の意見を青連協理事が主となり資料(提言)としてまとめる作業を始めています。



本部通常総会で決議を読み上げる
青連協宮脇事務局長(中標津)

支部会員	うち 賛助会員	うち元島民 (S20.8.15以降に北方 地域で出生した者含む)	うち後継者	後継者のうち 青年部加入
181	3	95	81	38
青年部員数			支部加入	支部未加入
67			38	29

あ と が き

元島民の平均年齢が77歳を超えました。返還の声を途絶えさせないよう三世の加入促進を図っています。遠方に就学、就職している子供さんも大歓迎です。ぜひご相談ください。(A)